

項目	目標	行動計画（重点的に取り組む事項）	年間評価（3月）
① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	職場や職場以外でも教員や公務員であることをいつも自覚し、法律やきまりにしたがって行動する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通知や新聞報道等の不祥事防止啓発資料を提示し職員の意識向上を図る。 ○ 服務などについて日常的に説明を行い、自覚をすることができるようにする。 ○ 不祥事防止会議の中でテーマ別に話しあい職員間で伝達講習を実施する。 ○ 報告・連絡・相談を日常的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の打ち合わせや不祥事防止会議を通して通知等を掲示してきた。今後も継続していく。 ○ 不祥事防止会議、朝の打ち合わせ等で適宜説明を行い自覚を促した。長期休業の前は特に注意すべき項目についての説明を行い服務への意識を高めた。 ○ 不祥事防止会議（TFB）を実施した。職員間で伝達講習を行い大変効果であった。 ○ 不祥事防止に関する報告・連絡・相談を日常的に行ってきた。今後も継続していく。
② わいせつ・セクハラ行為の防止	相手や周囲の人の気持ちを理解し、適切な言葉がけや関わりをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ セクシャルハラスメントについての理解を深め、その防止を図る。 ○ 児童生徒の発達段階や生活年齢を考慮した言葉がけや環境設定を行う。 ○ 不祥事防止会議の中でテーマ別に話しあい職員間で伝達講習を実施する。 ○ 啓発資料等の掲示、配布をし意識の向上を図る。 ○ 外部講師を招いた研修会を実施する（1月実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修会の実施や不祥事防止会議等で取り組んできた。 ○ 不祥事防止会議のほか、学部会・授業研究等の際にも話題にし意識していくようにした。今後も継続していく。 ○ 不祥事防止会議（TFB）を実施した。職員間で伝達講習を行い大変効果であった。 ○ 啓発資料等の掲示、配布をし意識の向上を図った。 ○ 外部講師を招いた研修会を実施し、セクハラ の定義を確認し県内の不祥事例から学んだ。
③ 体罰、不適切な指導の防止	人権意識を高め、児童生徒を尊重した指導に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年会・ケース会等の話し合いを充実させ、児童生徒理解、指導力の向上、共通理解を図る。 ○ 児童生徒の呼称や丁寧な言葉遣いに注意し、穏やか・肯定的・具体的・シンプルに関わる。 ○ 不祥事防止会議の中でテーマ別に話しあい職員間で伝達講習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年会・ケース会等の話し合いの中で、児童生徒理解、指導力の向上、共通理解を図ってきた。今後もより充実を図る。 ○ 児童生徒の呼称や丁寧な言葉遣いに注意し、穏やか・肯定的・具体的・シンプルに関わるように教員間で共有化した。 ○ 不祥事防止会議（TFB）を実施した。職員間で伝達講習を行い大変効果であった。
④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	個別的教育計画や実習関係資料などの作成や管理に注意する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作成過程で生じうる危険について検証し点検を行う。 ○ 不祥事防止会議の中でテーマ別に話しあい職員間で伝達講習を実施する。 ○ 作成した文書をマニュアルに沿って適正に取り扱う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 印刷、プリンターで打ち出す際の危険等についての注意喚起をおこなった。チェック項目を室内に掲示し注意を促した。 ○ 不祥事防止会議（TFB）を実施した。職員間で伝達講習を行い大変効果であった。 ○ 作成した文書をマニュアルに沿って適正に取り扱った。今後も継続していく。
⑤ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報等の紛失や流失が起らないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子や紙媒体の取り扱いをマニュアルに沿って行う。 ○ パソコン内の環境を整備し、情報の管理を適切に行う。 ○ 不祥事防止会議の中でテーマ別に話しあい職員間で伝達講習を実施する。 ○ 個人情報を含む物のダブルチェックを確実にを行う。 ○ 個人情報関係書類の保管場所を改善し日常の点検をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報係からの研修会を実施し職員に注意喚起を促した。 ○ パソコン内の環境を整備し、情報の管理を適切に行った。 ○ 不祥事防止会議（TFB）を実施した。職員間で伝達講習を行い大変効果であった。 ○ ダブルチェックについてのヒヤリハット事例を共有し、確実に実施するように注意喚起をおこなった。 ○ 個人情報関係書類の保管場所を整理し、点検を行った。

○平成29年度不祥事防止ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題（学校長意見）

事故防止に関する情報や知識を得ることや、職員間で互いに学びあう事故防止会議の実施等により職員全体の意識は高まっている。引き続き、効果的な注意喚起の方法や研修会を工夫し不祥事防止に向けていく。特に③体罰、不適切な指導の防止については今後も各職員が積極的に教育技術や支援方法について学び専門性を向上させていくことを組織的に行っていく。